

Creators of SOLAN

新しいプロジェクトスタート！

新しいプロジェクトがスタートしました。

T：第1クォーターからSOLANマッププロジェクトに取り組んできたね。いよいよマップも完成。このプロジェクトどうだった？

C：関西大学初等部の1年生と交流ができて楽しかった。

C：お手紙ももらってうれしかった。

T：先生は、このプロジェクトは、すごく役に立つことができたと思うんだ。このマップをこれから多くの人たちに見てもらおうんだよね。

C：ソランに行きたい！という人が増えるよね。

C：英語のページも作ったから、マイク先生の国の人にもみてもらえる。

T：そうだね。ソランはこんな学校だよ！と魅力を伝えることができるね。

T：では、今度は何をテーマに取り組もうかな？

この対話の後、私の方から問いかけました。

T：水槽に、藻がはってなかなかたいへんなんだよね。何かいい方法がないかな？

T：人の手を使わずに、水槽が綺麗になる方法が見つかったら、先生は助かるし、水槽をおいている学級の人にとっても役に立つんじゃないかな？

この後、話し合いをした結果、次は水槽をきれいにする道具を開発するプロジェクトに取り組むことになりました。まずは、みんなでアイデアを出し合いました。ペアで、水槽を観察したり、絵や図でまとめたりして、意見交流をしました。どんな道具が開発されるか楽しみです。



メダカは元気です！

生き物ランド的な1-1の教室。ザリガニ、メダカ、カニ、カタツムリ、バッタなど、色々な生き物たちが、私たちと一緒に生活しています。その中で、メダカはなかなか上手く飼育できず、失敗を繰り返してきましたが、やっとメダカが元気にすめる水槽にすることができました。子どもの中に、探究のテーマとして「メダカを調べよう」を設定し、メダカが死んでしまう原因を調べていました。水質の悪化、水流の関係、酸素が不足している、ストレスなどの原因があることをみつけていました。その中から考えられることとして「水質がよくないんだよな」という結論に至っています。身の回りにも探究の課題がたくさんあります。いろいろなことに対して疑問をもち、知りたい！学びたい！と主体的に活動していく子どもたちであってほしいです。



大きなかぶの劇作り



国語では、今「おおきなかぶ」の劇作りをしています。お話の内容を読み取り、どのようなお話か理解した後、場面の様子や登場人物の気持ちなどを想像しながら、新たに台詞を加えました。「ここは、もっとしっかりとかぶのたねを育てている感じがいいなあ」、「かぶはどんな気持ちかなあ」と友達と話し合いながら、表現の仕方などにも工夫をしています。子どもたちは、見る人に楽しんでもらえる劇にしようと頑張っています。